精華町第10次高齢者保健福祉計画・精華町第9期介護保険事業計画
高齢福祉施策の内容（第4章）（案）

別紙

精華町第9次高齢者保健福祉計画・精華町第8期介護保険事業計画（案）

精華町第10次高齢者保健福祉計画精華町第9期介護保険事業計画

施策の柱	施策領域 施策目標	施策
計画の目標 誰もが自分らしく高齢期を楽しめるまち その人らしい高齢期の暮らしと活動を応援する施策	1 健康づくり・介護予防の充実 住民が「自分の健康は自分でつくる」という意識を持って、健康づくりや介護予防に取り組んでいる	健康づくりの推進 介護予防の充実 介護予防ケアマネジメントの提供体制の推進 リハビリテーション提供体制の強化
	2 高齢期の社会参画機会の拡充 高齢の人が、いきいきと社会参画している	働く場と機会づくりの推進 趣味・社会貢献活動等の促進
	3 地域福祉の充実 地域福祉の活動に住民が積極的に参画している	高齢期に関する住民の相互理解の向上 高齢福祉ボランティアの養成・確保 身近な居場所・活動拠点づくりの促進 地域生活での安心サポートの充実 生活安全に係る普及啓発
	4 権利擁護対策等の推進 高齢の人の生命、財産、生活に係る権利が守られている	高齢者虐待の予防と対策 成年後見制度等の利用支援 消費者被害の予防と対策
	5 生活支援体制等の充実 多様な主体が住民の生活支援に携わっている	介護予防・生活支援サービス事業の充実（訪問型サービス、通所型サービス） 通いの場の充実 生活支援サービスの充実
	6 やさしいまちづくりの推進 安心して生活できるユニバーサルデザインのまちづくりが進んでいる	高齢期に対応した住まいづくりの促進 移動のしやすさの確保 公共的施設のパリアフリー化の促進
	7 災害や感染症に係る体制整備 非常時においても自分や家族等の安全を確保し、安心して過ごせる	平時からの見守り活動の促進 避難行動要支援者の支援体制の促進 感染症予防のための啓発と環境整備の取り組み促進 感染症流行期の健康づくり・介護予防
計画の目標 介護等が必要になったときの安心があるまち 介護等が必要になったときの安心をつくる施策	1 在宅医療・介護連携の推進 安心して介護サービスが利用でき、その人らしい最期を迎えることができるまちとなっている	居宅サービスの充実 介護保険施設サービス等の確保・活用 地域密着型サービスの充実 在宅医療・介護連携の推進 看取りに関する知識普及と意識啓発の推進 多職種協働による看取り期のケア体制づくりの促進
	2 地域包括支援センターの運営強化 地域包括支援センターが十分に、住民の介護予防や日々の暮らしをさまざまな側面からサポートしている	地域包括支援センターの機能充実 地域ケア会議の充実
	3 認知症対策の充実 認知症についての地域の理解が進み、自分らしく暮らすことができる	普及啓発・本人発信支援 認知症の予防に関する取り組みの促進 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援の促進 認知症パリアフリーの推進・若年性認知症の方への支援・社会参加支援の強化
	4 家族介護支援の推進 介護が必要な人とともに暮らす家族が、安心して介護をすることができる	家族介護支援の推進
	5 介護保険事業の適正運営 介護保険事業が適正に運営され、住民が安心して介護保険サービスを利用できる	介護保険制度・サービスに係る情報の提供 要介護認定・介護給付の適正の確保 低所得者の経済的負担の軽減 介護保険サービスの質の向上
	6 介護人材の確保 介護人材確保のための啓発及び人材育成支援がされている	福祉・介護サービス従事者の確保・育成 生活支援等の担い手の確保 各種制度の周知 介護現場における業務の効率化

施策の柱	施策領域 施策目標	施策
計画の目標 誰もが自分らしく高齢期を楽しめるまち その人らしい高齢期の暮らしと活動を応援する施策	1 健康づくり・介護予防の充実 住民が「自分の健康は自分でつくる」という意識を持って、健康づくりや介護予防に取り組んでいる	健康づくりの推進 介護予防の充実 介護予防ケアマネジメントの提供体制の推進 リハビリテーション提供体制の強化
	2 高齢期の社会参画機会の拡充 高齢の人が、いきいきと社会参画している	働く場と機会づくりの推進 趣味・社会貢献活動等の促進
	3 地域での支え合いネットワークの構築 地域福祉の活動に住民が積極的に参画し、支え合いのネットワークが構築されている	高齢期に関する住民の相互理解の向上 高齢福祉ボランティアの養成・確保 身近な居場所・活動拠点づくりの促進 総合的な相談支援体制の整備 地域生活での安心サポートの充実 生活安全に係る普及啓発
	4 権利擁護対策等の推進 高齢の人の生命、財産、生活に係る権利が守られている	高齢者虐待の予防と対策 成年後見制度等の利用支援 消費者被害の予防と対策
	5 生活支援体制等の充実 施策目標多様な主体が住民の生活支援に携わっている	介護予防・生活支援サービス事業の充実（訪問型サービス、通所型サービス） 通いの場の充実 生活支援サービスの充実
	6 やさしいまちづくりの推進 安心して生活できるユニバーサルデザインのまちづくりが進んでいる	高齢期に対応した住まいづくりの促進 移動のしやすさの確保 公共的施設のパリアフリー化の促進
	7 地域での 災害や感染症に係る体制整備 非常時においても自分や家族等の安全を確保し、安心して過ごせる	平時からの見守り活動の促進 避難行動要支援者の支援体制の促進 感染症予防のための啓発と環境整備の取り組み促進 感染症流行期の健康づくり・介護予防
計画の目標 介護等が必要になったときの安心があるまち 介護等が必要になったときの安心をつくる施策	1 在宅医療・介護連携の推進 安心して介護サービスが利用でき、その人らしい最期を迎えることができるまちとなっている	居宅サービスの充実 介護保険施設サービス等の確保・活用 地域密着型サービスの充実 在宅医療・介護連携の推進 看取りに関する知識普及と意識啓発の推進 多職種協働による看取り期のケア体制づくりの促進
	2 地域包括支援センターの運営強化 地域包括支援センターが十分に、住民の介護予防や日々の暮らしをさまざまな側面からサポートしている	地域包括支援センターの機能充実 地域ケア会議の充実
	3 認知症対策の充実 認知症についての地域の理解が進み、自分らしく暮らすことができる	普及啓発・本人発信支援 認知症の予防に関する取り組みの促進 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援の促進 認知症パリアフリーの推進・若年性認知症の方への支援・社会参加支援の強化
	4 家族介護者 支援の推進 介護が必要な人とともに暮らす家族が、安心して介護をすることができる	家族介護者支援の推進
	5 介護保険事業の適正な運営 介護保険事業が適正に運営され、住民が安心して介護保険サービスを利用できる	介護保険制度・サービスに係る情報の提供 要介護認定・介護給付の適正の確保 低所得者の経済的負担の軽減 介護保険サービスの質の向上 安心して利用できるサービスの提供
	6 介護人材の確保 介護人材確保のための啓発及び人材育成支援がされている	福祉・介護サービス従事者の確保・育成 生活支援等の担い手の確保 各種制度の周知 介護現場における業務の効率化